

水と水道と下水道

11月8日、片平山で行われていた配水池の本体工事が完成し、新しい配水池から配水が開始されました。今回の特集では、私たちの生活に欠かせない「水」にクローズアップし、循環のしくみや本市水道の始まり、下水道の役割などについて紹介します。

循環の中の私たち

海から水蒸気をたっぷり含んでやってきた雲は、山々に雨や雪を降らせます。降り注いだ水

はやがて川や地下水となり、海へと戻っていきます。山から海へと向かう水を、陸地に住む私たちは、飲んだり料理に使ったりと水の恩恵を受けて生活して

いるのです。枕崎を例にした左の図で山から海に至るまでの水の循環の旅を見てみましょう。

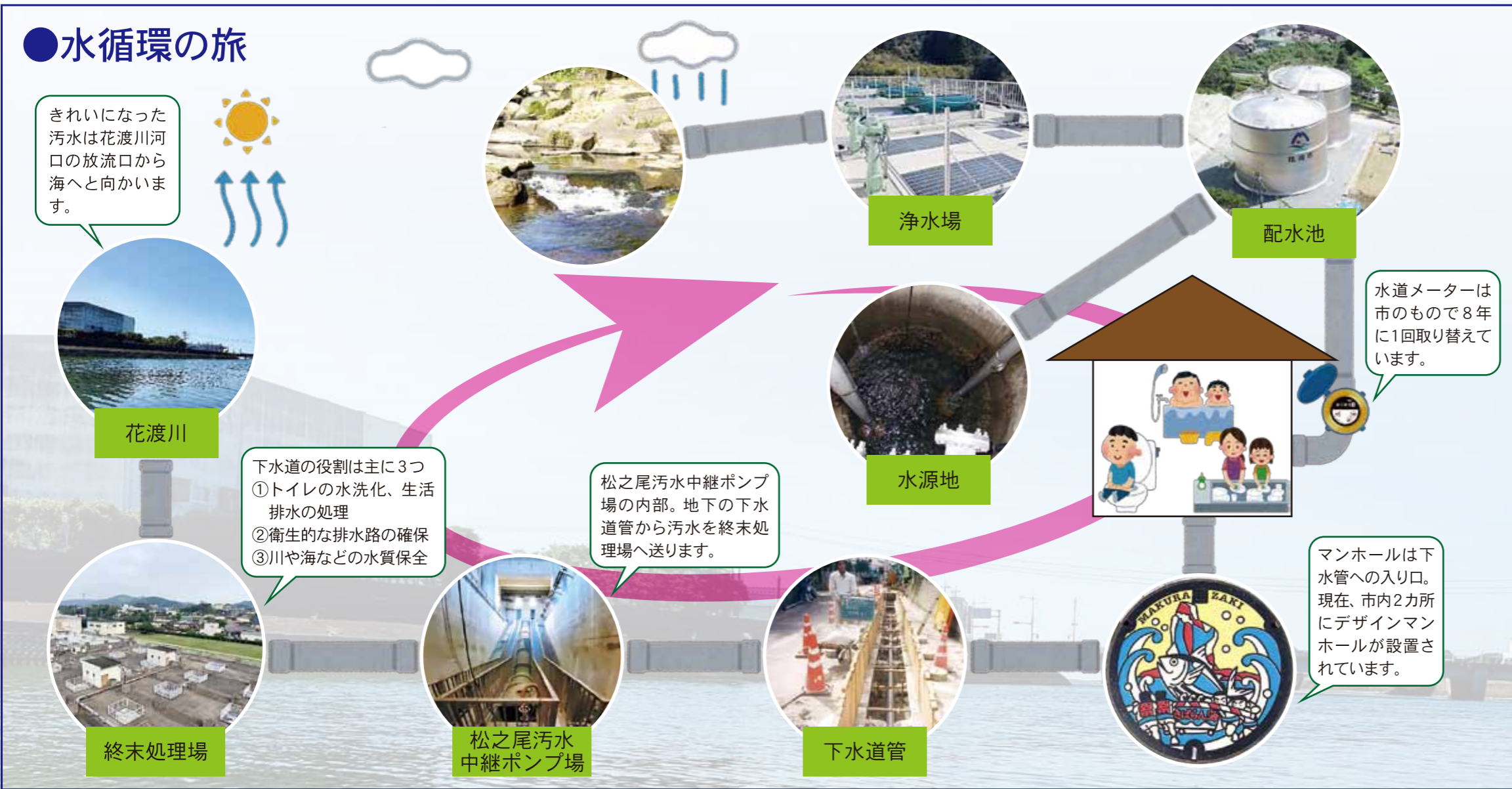
循環のしくみ

水道水となる川の水は、浄水場にあるろ過設備で細かいごみなどが取り除かれ、消毒などの工程を経て、安全で飲用可能な水道水になります。そのほかにも、水源地から汲み上げた地下水や湧水も消毒等の処理を経て水道水になります。浄水場や水源地の水道水は、山の上など高い所にある配水池へポンプで送り貯えられ、配水管と呼ばれる水道管を通じて各家庭や事業所に届けられます。家庭や事業所に送り届けられた水は、炊事、洗濯、お風呂やトイレ、各事業活動など、さまざまな場面で使われます。

現代では、家庭や工場が出す汚れた水を自然の浄化能力だけできれいにすることができなくなってしまうことが多くなっています。そのため、汚れた水をきれいな水よみがえらせ海に戻す重要な役割を担うのが下水道です。家庭や工場から出された汚れた水は下水道管を通じて処理場へ集められ、微生物の力で汚れを取り除き、花渡川へ放流します。また、取り除かれた汚れは汚泥として処分場でリサイクルされます。下水道は見えないところで快適な環境を確保し、健康で豊かな生活を守るために機能しています。

水道一口メモ

道路に埋めてある水道管から分かれ、家庭などに引き込まれた給水管やこれに取り付けている給水用具（蛇口や湯沸かし器など）を給水装置といいます。給水装置は設置された皆さんの財産となりますので、管理してもらわなければなりません。古くなった管や給水装置は漏水の原因にもなりますので、早めに取り替えをしましょう。



水道メーターは市のもので8年に1回取り替えています。

マンホールは下水管への入り口。現在、市内2カ所にデザインマンホールが設置されています。

松之尾污水中継ポンプ場の内部。地下の下水道管から汚水を終末処理場へ送ります。

下水道の役割は主に3つ
①トイレの水洗化、生活排水の処理
②衛生的な排水路の確保
③川や海などの水質保全

きれいになった汚水は花渡川河口の放流口から海へと向かいます。

SDGsと上下水道

生活に欠かせない水道事業と下水道事業は、安心安全な水道水の提供や汚水の適正な処理を行い、安定的な維持管理に努めることで世界的な目標であるSDGsのゴール達成にも貢献している事業です。貢献内容は次のとおりです。

6. 安全な水とトイレを世界中に

・安全な水道水をお届けします。
・地域で発生する汚水を浄化し、水質保全を図ります。
・下水道の接続と下水道区域外での合併浄化槽の設置を推進し、水質保全を図ります。

11. 住み続けられるまちづくりを

・安心安全な上下水道施設の構築によりまちづくりに貢献します。

14. 海の豊かさを守ろう

・処理場で汚水を処理して、川

循環の中で水を使う責任

処理水も雨も川から海へ流れ、蒸発し、雲となり、やがて水となって私たちの生活に戻ってきます。地球の表面の70%は水に覆われていますが、私たちが利用できる水はそのうちの0.01%とされています。限りある水を守るため、生活を守るため、正しく大切に水を使いましょう。

下水道区域外では合併浄化槽の設置を

下水道のない地域では、合併浄化槽を設置することで、し尿だけでなく生活雑排水も一緒に浄化して川へ放流できます。一般住宅に合併浄化槽を設置する場合には、補助金を利用することがあります。

単独浄化槽・汲み取り槽からの切り替えなど、合併浄化槽の設置をお考えの方は、市民生活課環境整備係（TEL 76・1097）へお問い合わせください。※補助金の予算には限りがあります。